

## Press Release

2023年6月12日

日本イーライリリー株式会社  
田辺三菱製薬株式会社

# 世界初の持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬 「マンジャロ<sup>®</sup>皮下注 7.5 mg/10 mg/12.5 mg/15 mg アテオス<sup>®</sup>」 を新発売、フルラインナップに

日本イーライリリー株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役社長:シモーネ・トムセン、以下、日本イーライリリー)と田辺三菱製薬株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:辻村 明広、以下、田辺三菱製薬)は、本日6月12日、持続性GIP/GLP-1受容体作動薬「マンジャロ<sup>®</sup>皮下注7.5 mgアテオス<sup>®</sup>」、「同皮下注10 mgアテオス<sup>®</sup>」、「同皮下注12.5 mgアテオス<sup>®</sup>」、「同皮下注15 mgアテオス<sup>®</sup>」(一般名:チルゼパチド、以下、マンジャロ)を新発売したことをお知らせいたします。

マンジャロ<sup>®</sup>皮下注の6つの用量規格のうち、先行して本年4月18日に発売した開始用量(2.5 mg)と維持用量(5 mg)の2規格に、今回、高用量の残り4規格(7.5 mg、10 mg、12.5 mg、15 mg)が加わったことで、フルラインナップとなりました。



マンジャロは、グルコース依存性インスリン分泌刺激ポリペプチド(GIP)とグルカゴン様ペプチド-1(GLP-1)の二つの受容体に作用する世界初の持続性GIP/GLP-1受容体作動薬です。本剤の構造は、天然GIPペプチド配列をベースとした単一分子ですが、GLP-1受容体にも結合するように改変されており、選択的に長時間作用し血糖値を改善します。

本剤は、1回使い切りのオートインジェクター型注入器（アテオス）によって、週1回皮下注射します。あらかじめ注射針が取り付けられた専用ペン型注入器の注入ボタンを押すことで自動的に注射針が皮下にささり、充填されている薬液が注入されます。患者さんが用量を設定したり、注射針を扱ったりする必要はありません。

また、本剤は通常、成人には、チルゼパチドとして週1回2.5 mgの開始用量から開始し、4週間投与した後、週1回5 mgの維持用量に増量します。患者さんの状態に応じて適宜増減が可能な薬剤であり、5 mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔を空けて2.5 mgずつ増量ができ、最大で週1回15 mgまで使用が可能です。

マンジャロの製造販売承認は日本イーライリリーが有し、販売・流通は田辺三菱製薬が行います。医療従事者への情報提供活動は日本イーライリリーと田辺三菱製薬が共同で行います。本剤のラインナップを通して、2型糖尿病とともに歩む方々のよりよい人生に貢献できるよう、両社で適正な情報提供に努めてまいります。

以上

## 参考情報

### 製品概要

販売名	マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注 7.5 mg アテオス <sup>®</sup> マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注 10 mg アテオス <sup>®</sup> マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注 12.5 mg アテオス <sup>®</sup> マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注 15 mg アテオス <sup>®</sup>
一般名	チルゼパチド
効能又は効果	2型糖尿病
用法及び用量	通常、成人には、チルゼパチドとして週1回5 mgを維持用量とし、皮下注射する。ただし、週1回2.5 mgから開始し、4週間投与した後、週1回5 mgに増量する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5 mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔で2.5 mgずつ増量できる。ただし、最大用量は週1回15 mgまでとする。
製造販売承認取得日	2022年9月26日
薬価収載日	2023年3月15日
発売日	2023年6月12日
薬価	マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注7.5 mgアテオス <sup>®</sup> 0.5mL 1キット: 5,772円 マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注10 mgアテオス <sup>®</sup> 0.5mL 1キット: 7,696円 マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注12.5 mgアテオス <sup>®</sup> 0.5mL 1キット: 9,620円 マンジャロ <sup>®</sup> 皮下注15 mgアテオス <sup>®</sup> 0.5mL 1キット: 11,544円
製造販売元	日本イーライリリー株式会社
販売元	田辺三菱製薬株式会社

## 製品画像



マンジャロ®皮下注7.5 mgアテオス®



マンジャロ®皮下注10 mgアテオス®



マンジャロ®皮下注12.5 mgアテオス®



マンジャロ®皮下注15 mgアテオス®

### 日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<https://www.lilly.co.jp>

### 田辺三菱製薬について

三菱ケミカルグループ(MCG)のファーマ部門である田辺三菱製薬は、1678年に創業、医療用医薬品事業を中心とする製薬企業として、最も歴史ある老舗企業のひとつです。MCGは経営方針「Forging the future 未来を拓く」の中で、ヘルスケアを最重要戦略市場のひとつに位置付けています。田辺三菱製薬は、「病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。」をMISSIONとし、これを実現するため、中枢神経、免疫炎症、糖尿病・腎領域に加え、がん領域にも取り組んでいきます。有効性・安全性が高い患者層を見出し、治療満足度の高い薬剤をお届けする「プレジジョンメディシン」の他、予防・未病、重症化予防、予後にも目を向け、治療薬を起点に患者さんの困りごとに応える「アラウンドピルソリューション」を展開していきます。<https://www.mt-pharma.co.jp/>